

新たな交通手段の検討について

1 目 的

本区は、国内外から多くの観光客が訪れる観光地であることや少子高齢化が進んでいることから、交通に関する多様なニーズへの対応が求められている。このため、区民や来街者の交通利便性の向上に向け、グリーンスローモビリティ等の新たな交通手段の導入に向けた検討を進める。

また、少子高齢化に伴い、交通事業を担う人材の更なる不足が懸念されることから、本区における持続可能な地域公共交通のあり方について検討する。

2 令和 6 年度の実証実験結果

別添資料のとおり

3 令和 6 年度の実証実験に対する評価と課題

(1) グリーンスローモビリティ

グリーンスローモビリティは電気自動車を使用し、従来のガソリン車等と比べて大幅な二酸化炭素排出削減が期待され、環境負荷の軽減が期待できる。

また、低速、短距離運行で安全性が高いため、高齢者や子どもにも利用しやすい交通手段であり、谷中エリアでは、地域住民の利用が多く見られ、地域コミュニティの形成が期待できる。

さらに、上野エリアでは、来街者の利用が多く見られ、周遊型交通（観光コンテンツ）として、地域活性化が期待できる。

一方で、低速の特性から運行範囲が限定されることや、従来の交通手段と比較し、定員が少ないことから利用者の移動需要を満たしきれない。

また、車両の導入や運行維持費が高く、実装した場合にはインフラ整備も必要となり、公的負担や利用者負担などのコスト面での課題がある。

(2) A I オンデマンド交通

将来の移動不安の解消、電車やバス等既存交通との接続による利用促進につながることを期待できる。

また、A I システムを導入することにより、効率的な運行が実現され、環境負荷の軽減につながることを期待できることや、移動データを蓄積することで今後の交通施策に活用できる可能性が見られる。

一方で、利用年代に偏りがあることなどから、地域や年代別のニーズ分析を行い、事業性の検証が必要である。

4 令和 7 年度の取り組み

社会的背景・課題やこれまでの実証実験の結果等をふまえ、本区の交通に係る現状把握及び課題分析をし、新たな交通手段の導入に向けた検討を含め、将来を見据えた本区における持続可能な地域公共交通のあり方を検討する。

5 今後の予定

令和 8 年第 1 回定例会 交通対策・地区整備特別委員会に検討結果を報告

実証実験の目的

住宅地におけるきめ細やかな移動手段として、また、文化・観光・商業地区における周辺への回遊性の向上手段としての実証実験を行い、地域ニーズを把握するとともに、安全性や事業性を確認する。

実施概要

実証エリア	①上野エリア（文化・観光・商業地区） ②谷中エリア（住宅が多い地区）
実証期間	①上野エリア 令和6年9月4日（水）～15日（日）【12日間】 ②谷中エリア 令和6年10月16日（水）～27日（日）【12日間】
使用車種	グリーンスローモビリティ2車種を使用 ・NAO-6J（タジマモーター）乗車定員：6人 ・eCOM-4（シンクトゥギャザー）乗車定員：7人
運賃	無料
運行時間	両エリアともに午前11時から午後4時まで
運行便数	①各日 6便（1周約80分） ②各日 16便（1周約20分）

運行ルート

①上野エリア



※1周約80分
（竹の台広場を起点に運行）

②谷中エリア



※1周約20分
（谷中防災コミュニティセンター前を起点に運行）

実施結果 乗車人数

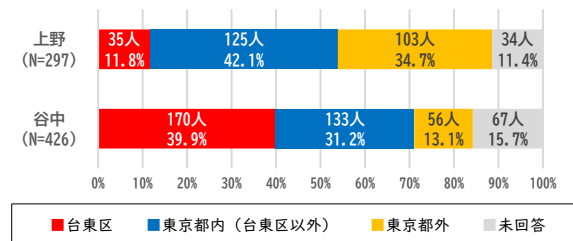
	①上野エリア	②谷中エリア
NAO-6J（タジマモーター）	290人	415人
eCOM-4（シンクトゥギャザー）	284人	568人
計（1便平均）	574人（7.8人）	983人（5.1人）

実施結果 アンケート結果

①住所地

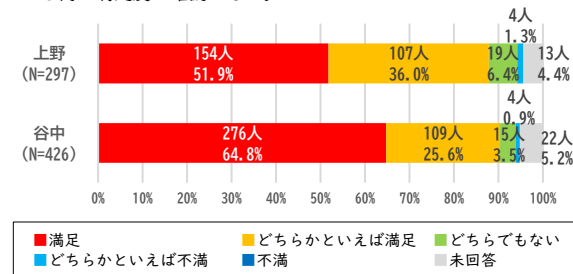
上野エリアでの利用者は、台東区民以外の来街者が大半を越えている。

谷中エリアでの利用者は、台東区民が約4割であった。



②乗車満足度

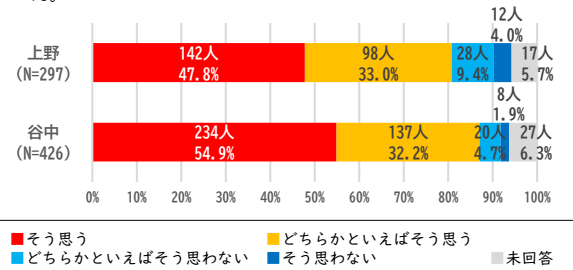
両エリアともに9割程度の人が「満足」または「どちらかといえば満足」と回答しており、グリーンスローモビリティに対する高い満足度を確認できた。



③回遊・外出意欲の向上

問：グリスロがあれば、少し遠くまで出かけたと思うか？

両エリアともに「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した人が8割を超え、住民の外出意欲の向上につながるとともに、来街者等の回遊性を促進させることが確認できた。

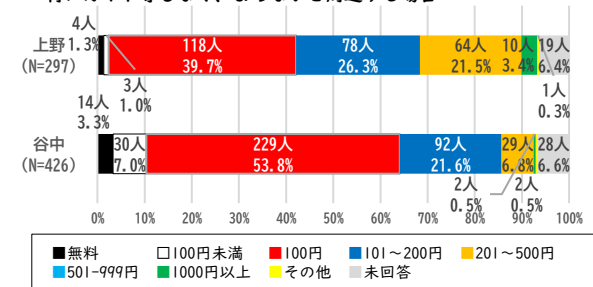


④支払意思額

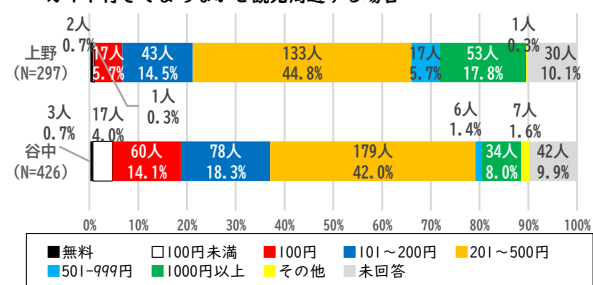
ガイドなしの場合は、両エリアともに「1000円」「2000円」という回答が多くなっているが、上野エリアではそれ以上の額の回答も一定数あり、やや支払意思額が高いことが分かる。

一方で、ガイド付きの場合は、支払意思額が高くなり「500円まで」の回答が多くなっている。また、上野エリアでは「1,000円以上」という回答も約2割あった。

特にガイド等もなく、まちなかを周遊する場合



ガイド付きでまちなかを観光周遊する場合



⑤ボランティア（運転手・観光ガイド等）への関心度

両エリアともにボランティアに関心が「ある」または「少しある」と回答した人が3割を超え、ボランティアを活用した運行の可能性が確認できた。

